

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 15日

事業所名 はびりすぽと

保護者等数(児童数)21名

回収数20名

割合95.2%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19			1		はびりすぽとは児童支援室30㎡や遊戯室50㎡、和室10㎡があります。見学にいらして下さい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2				法令に定められた人員で支援を行っています。見学にいらして下さい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	1		1		各部屋の広さや設置している道具により、取り組む活動が分かりやすいように環境調整を行っています。バリアフリー化されています。見学にいらして下さい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1				毎日清掃し、清潔に保たれています。見学にいらして下さい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	20					評価や情報収集、面談時の聴き取りよりニーズや課題を把握して、計画書作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18			2		多様な支援を展開できるように、事業の開発も含めて取り組みを検討しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20					変化しやすい子どもの現状把握、目標設定を意識して支援を行っています。職員の知識・技術の向上に取り組んでいきます。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	20					季節に応じたイベントも利用し、意欲的にプログラムに取り組めるよう工夫しています。また、職員会議時に職員のアイデアを発案する機会を設けています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	2		4		普段、子ども園や幼稚園を利用していている子どもが当事業所を利用しており交流はあるため、特別に機会を設けていません。
保護者への説明	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19		1			今後も契約時に丁寧な説明を行います。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19		1			今後も契約時や面談時に支援計画について説明を行い、同意が得られるように丁寧な説明を行います。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	16	1		3		実施者を募集したり、必要な保護者に個別にご案内しています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20				毎日細かく伝えてもらっています	連絡帳や送迎持の対面、また電話等で子どもの状況について共通理解を行っています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20					半年毎の面談時や普段の連絡以外にも気軽に保護者が要望を伝えられるシステム(ラインオフィシャル)を開設しています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	2	6		会の開催は感染防止対策の観点から積極的に行っていませんが、状況を見ながら保護者間の連携を支援できるように取り組んでいきます。

等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20					迅速な対応を行っています。より体制を整えるために人材育成に努めます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20					連絡帳への記載や電話、ラインオフィシャルを利用して情報伝達を行っています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20					HPの更新を継続するとともに、ラインオフィシャルも利用して発信しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	1				個人情報の取り扱いについて引き続き職員教育に取り組んでいきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	20					契約時に説明をしています。今後も丁寧な説明を行っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20					3か月毎に訓練を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	20					児童が楽しんで過ごせるよう工夫、対応に努めます。
	23	事業所の支援に満足しているか	20					満足のいく支援ができるように職員一同研鑽を積んでいきます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。